



2023年度

田中橋

福山市熊野町地内

橋梁修繕工事実施設計書

工
事
概
要

工事延長 $L=10.6\text{m}$
橋長 $L=10.5\text{m}$
有効幅員 $W=2.9\text{m}$
断面修復工 $V=0.61\text{m}^3$
表面保護工 $A=74\text{m}^2$
水切工 $L=21\text{m}$
遊間防水工 $L=7\text{m}$
支承防錆工 $A=0.04\text{m}^2$
排水装置工 $N=4$ 箇所
防護柵工 $L=19\text{m}$

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、橋梁修繕工事（田中橋）に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和5年8月 広島県 土木工事共通仕様書，「設計図書（別冊図面，仕様書）」，「福山市建設工事執行規則」，「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類
「令和5年8月 広島県 土木工事共通仕様書の1-1-1-26 週休二日の対応」は本工事においては適用しない

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 工事に着手すべき期日について

- ・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第5節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第2章 施工条件

第1節 施工時期・時間の制限

- ・渇水期での施工とする。

第2節 関係機関との協議

- ・協議先機関名：広島県東部建設事務所管理課
- ・協議内容：吊足場設置等施工内容全般

第3節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第4節 交通誘導警備員

- 1 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
- 2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
- 3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
- 4 本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要な人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。
- 5 受注者は、工事着手に先立ち、交通誘導警備員の配置計画（配置日数及び配置場所）を作成し、監督員と協議すること。

第5節 任意仮設

- ・本工事に伴う以下の内容の仮設工は、積算用参考図に見込んでいる。なお、積算用参考図は任意仮設の積算内容を示したものであり、工事目的物を完成させるための一切の手段については、受注者の責任において定めるものとする。
- ・内容：仮設工

第6節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊，コンクリート塊等）

- ・建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合，「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また，法第12条第2項に基づき，法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は，告知書の写しを監督員に提出すること。
- ・特定建設資材廃棄物は，「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し，適正に処理しなければならない。
- ・特定建設資材廃棄物は，広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市，呉市，福山市）が，廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
- ・再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は，広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市，呉市，福山市）が廃棄物処理法に基き許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から，運搬費な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。の受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。
- ・搬出先においては，処分状況が確認できるよう，写真撮影を行うとともに，数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。

第3章 その他

第1節 その他項目

- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または，その内容に疑義が生じた場合は，監督員の指示を受けること。

第2節 現場標示板等について

- 「第20 回世界バラ会議福山大会2025」の周知と機運醸成を図るため，現場標示板等へ大会ロゴの標示について，ご協力をお願いします。
- ・使用するロゴは「第20 回世界バラ会議福山大会2025 ロゴ利用規程」に沿ったものとし，別紙のいずれかのデザインとする。
 - ・「第20 回世界バラ会議福山大会2025 ロゴ利用規程」に定められた「大会ロゴ利用許諾申請書」の提出は不要とする。
 - ・使用する大会ロゴは「大会ロゴデザインガイド」にて配色等が定められているので留意すること。
 - ・大会ロゴの標示については任意事項とし，標示に必要な経費は工事費に計上しない。
 - ・ロゴ標示期限は2026 年（令和8 年）3 月31 日とする。
(デザインデータについては福山市建設管理部技術検査課へお問い合わせください。)

総括情報表

頁0 -0001

変更回数	0			≪凡例≫ Co・・・コンクリート As・・・アスファルト DT・・・ダンプトラック BH・・・バックホウ CC・・・クローラクレーン TC・・・トラッククレーン RTC・・・ラフテレーンクレーン
適用単価地区	70 福山市			
単価適用日	00-05.10.01(0)			
諸経費体系	1 公共(一般)			
		当世代	前世代	
工種	41 橋梁保全工事			
施工地域・工事場所区分	04 一般交通影響有り(2)			
復興補正区分	00 補正なし			
週休補正区分	00 補正なし			
現場事務所等の貸与区分	00 補正なし			
I C T補正区分	00 補正なし			
冬期補正係数	00 補正なし			
緊急工事区分	00 通常工事 0%			
前払金支出割合区分	00 補正無し			
契約保証区分	01 金銭的保証(0.04%)			
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。				

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
橋梁補修工	1	式			Y1G0324 レベル2
断面修復工	1	式			Y1G032405 レベル3
左官工法 【材料種類】 【鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理の有無】			構造物		Y1G03240501 レベル4
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0.61m3	1	構造物			S1020041 00 単第0 -0001 表
表面保護工					Y3999 レベル3
下地処理	1	式			Y4999 レベル4
表面含土工_下地処理 高圧水洗い 1橋当り100m2未満	1	橋			V0011 00 単第0 -0002 表

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
含浸材塗布					Y4999 レベル4
表面含浸工_含浸材塗布 無機リチウム系ミックスタイプコンクリート 1橋当り100m2未満	1	橋			V0012 00 単第0 -0003 表
水切工	1	式			Y3999 レベル3
水切工					Y4999 レベル4
水切り材 橋梁床版用後付け型水切 1橋当り20m以上 ウォーターカッター相当品	21	m			V0003 00 単第0 -0004 表
遊間防水工	1	式			Y3999 レベル3
バックアップ材					Y4999 レベル4
樹脂発泡体 t=10mm 倍率30倍	0.1	m2			F0003 00
防水材充填工					Y4999 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
シール材					SPK23040124 00
支承防錆工	7	m			単第0 -0005 表 Y3999 レベル3
素地調整	1	式			Y4999 レベル4
塗替塗装 素地調整	0.04	m2			SDT00029 00 単第0 -0006 表
防錆材塗布					Y4999 レベル4
新橋・新橋継手部現場塗装_下塗り 下塗り塗装	0.04	m2			SDT00023 00 単第0 -0007 表
排水装置工	1	式			Y3999 レベル3
排水管設置工					Y4999 レベル4
排水管設置工 天端プレート一体型ステンレス排水装置 アンカー削孔・設置含む ステンレス排水装	4	箇所			V0004 00 単第0 -0008 表

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
防護柵工					Y3999 レベル3
	1	式			
転落防止柵設置					Y4999 レベル4
防護柵設置工 ベースプレート式 C種 施工延長20m未満	1	式			V0005 00 材料別途計上 単第0 -0009 表
転落防止柵 P種 ベースプレート式 4段・支柱間隔3m・白	19	m			F0010 00
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 削孔深さ30mm以上200mm未満	40	孔			SPK23040118 00 単第0 -0010 表
あと施工アンカー M12×100 電気亜鉛メッキ	40	本			F0011 00
構造物撤去工	1	式			Y1G0327 レベル2
構造物取壊し工	1	式			Y1G032706 レベル3
コンクリート構造物取壊し 【構造物区分, 工法区分】		m3			Y1G03270601 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
とりこわし					SPK23040333 00
	2	m3			単第0 -0011 表
運搬処理工	1	式			Y1G032716 レベル3
殻運搬 【殻種別】		m3			Y1G03271601 レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離23.2km以下(18.5km超)	0.6	m3			SPK23040152 00 単第0 -0012 表
殻運搬 Co(鉄筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離23.2km以下(18.5km超)	2	m3			SPK23040152 00 単第0 -0013 表
殻処分 【殻種別】		m3			Y1G03271602 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
コンクリート殻処分費 無筋	1	t			F0012 00
コンクリート殻処分費 有筋	4	t			F0013 00

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設工					Y160328 レベル2
	1	式			
仮設工					Y3999 レベル3
	1	式			
補修用足場工					Y4999 レベル4
	1	式			
補修用足場工					V0010 00
	1	式			単第0 -0014 表
直接工事費 #0020計=支給品等(材料), 無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					
共通仮設費計					
純工事費					

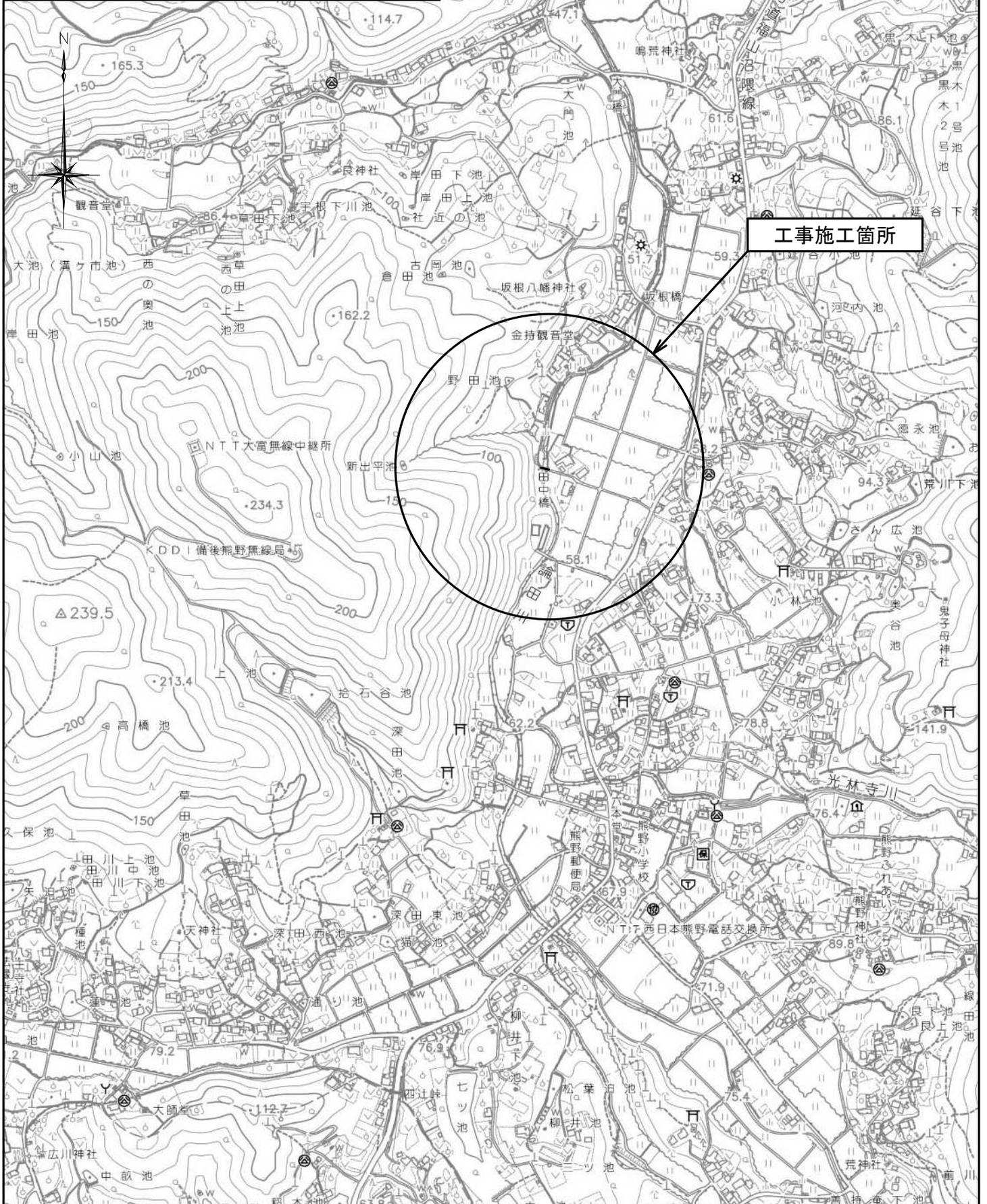
本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現場管理費					
計算情報…… 対象額…… 率……					
工事原価					
一般管理費率分					前払補正率…
計算情報…… 対象額…… 率……					
契約保証費					
計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
工事価格					
消費税相当額					
計算情報…… 対象額…… 率……					
工事費計					
契約保証費計					

図面番号	1/11	縮尺	S=1:10,000
工種	橋梁修繕工事		
種別	位置図	番号	1/1
橋梁名	田中橋		
工事箇所	福山市熊野町地内		
福山市			

令和5年度
国補

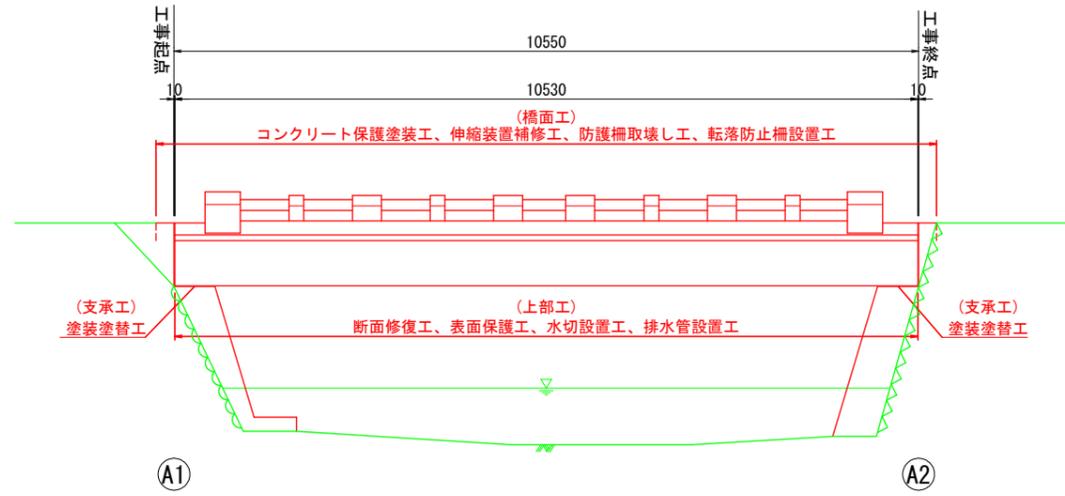


図面番号	2 / 11	縮尺	図示
工程	橋梁修繕工事		
種別	補修一般図	縮尺	1/1
橋梁名	田中橋		
工事箇所	福山市熊野町地内		
	福山市		

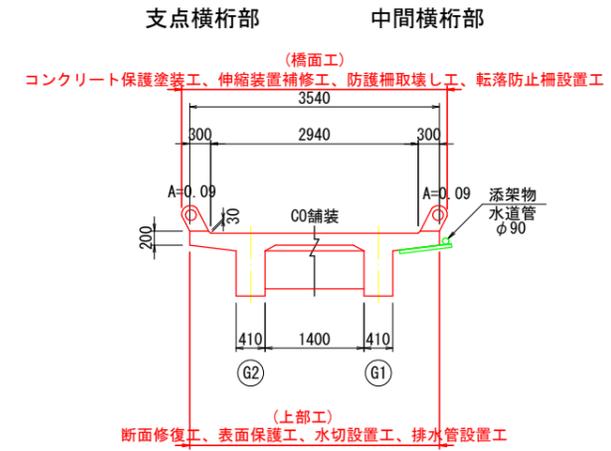
令和5年度
国補

田中橋 補修一般図 S=1:50

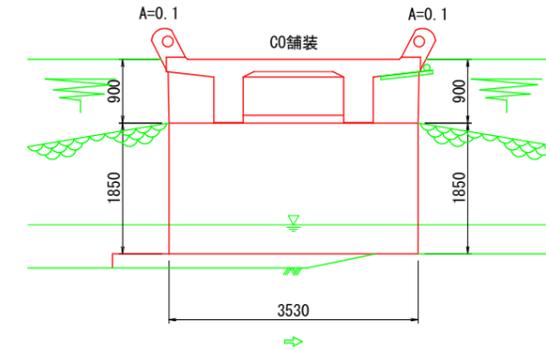
縦断面図



横断面図

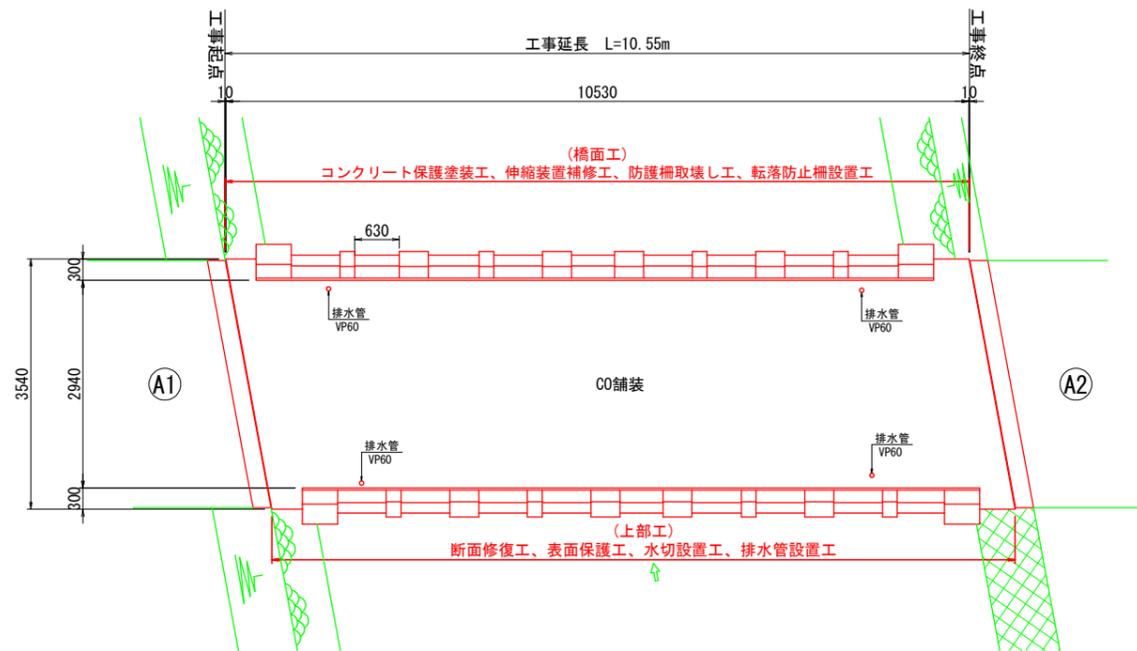


A1橋台



A2橋台

平面図 (橋面)



※この図面は縮小しています：A1→A3

図面番号	3 / 11	縮尺	図示
工程	橋梁修繕工事		
種別	上部工補修図	縮尺	1/1
橋梁名	田中橋		
工事箇所	福山市熊野町地内		
	福山市		

令和5年度
国補

田中橋 上部工補修図 S=1:50

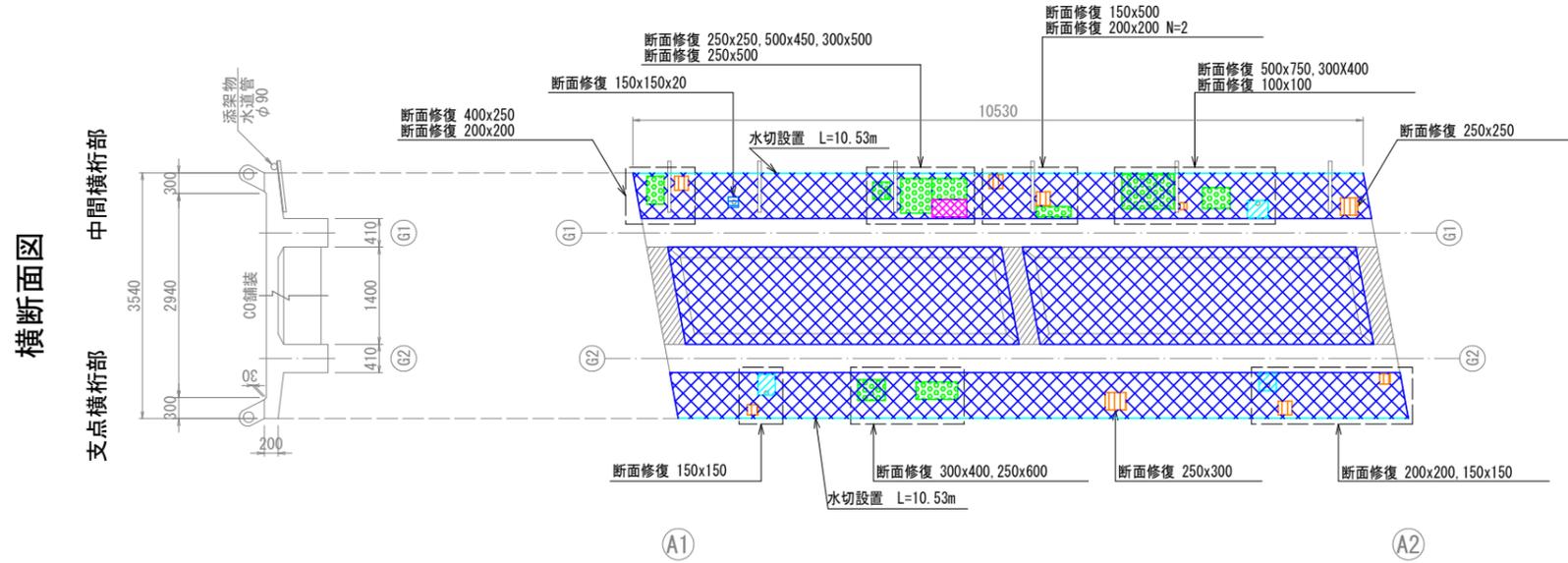
※この図面は縮小しています：A1→A3

左側地覆展開図



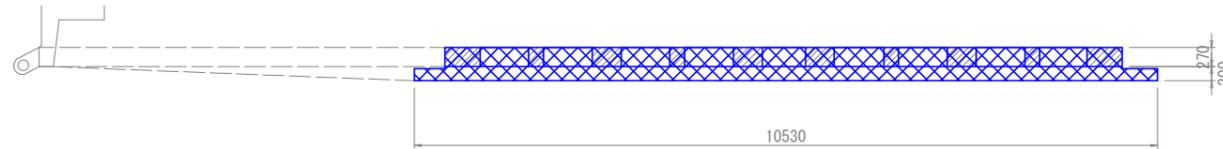
表面保護工 A=4.7m²
(コンクリートキーパー相当品)

平面図 (床版下面)



表面保護工 A=27.4m²
(コンクリートキーパー相当品)

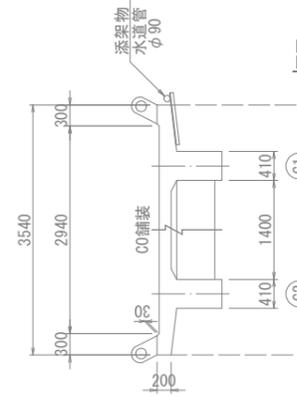
右側地覆展開図



表面保護工 A=4.7m²
(コンクリートキーパー相当品)

横断面図

中間横桁部
支点横桁部



凡例	
記号	損傷種類
	ひび割れ (W=0.2mm未満)
	ひび割れ (W=0.2mm~1.0mm未満)
	ひび割れ (W=1.0mm~5.0mm未満)
	ひび割れ (W=5.0mm以上)
	析出物を伴うひび割れ
	うき
	剥離
	鉄筋露出
	欠損
	摩耗・浸食
	豆板
	析出物
	漏水・滞水
	腐食
	防食機能の劣化
	その他
写 1	写真番号

図面番号	4 / 11	縮尺	図示
工程	橋梁修繕工事		
種別	上部工補修図	縮尺	1/1
橋梁名	田中橋		
工事箇所	福山市熊野町地内		
	福山市		

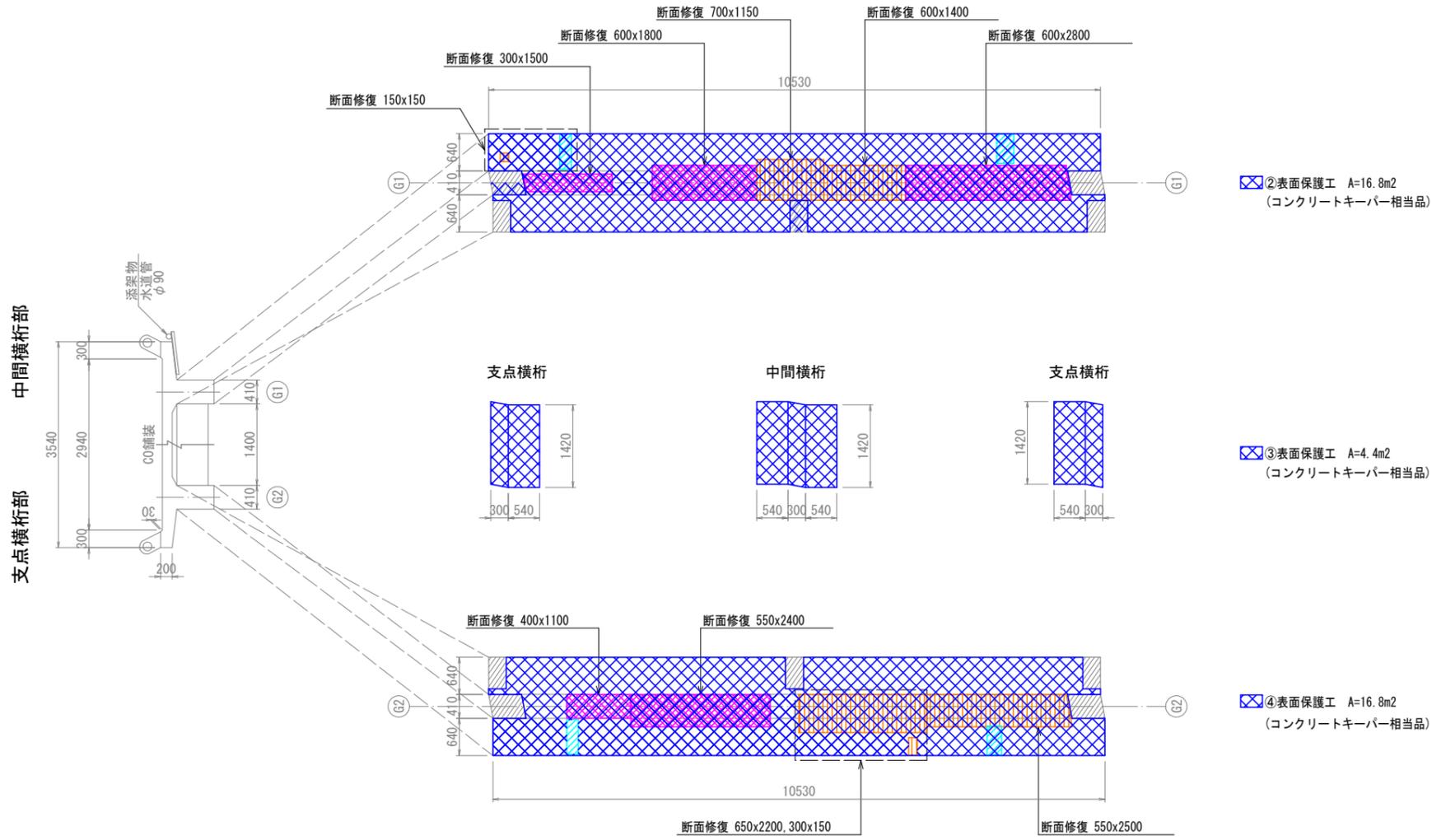
令和5年度
国補

田中橋 上部工補修図 S=1:50

主桁

※この図面は縮小しています：A1→A3

横断面図



②表面保護工 A=16.8m²
(コンクリートキーパー相当品)

③表面保護工 A=4.4m²
(コンクリートキーパー相当品)

④表面保護工 A=16.8m²
(コンクリートキーパー相当品)

凡例	
記号	損傷種類
	ひび割れ (W=0.2mm未満)
	ひび割れ (W=0.2mm~1.0mm未満)
	ひび割れ (W=1.0mm~5.0mm未満)
	ひび割れ (W=5.0mm以上)
	析出物を伴うひび割れ
	うき
	剥離
	鉄筋露出
	欠損
	摩耗・浸食
	豆板
	析出物
	漏水・滞水
	腐食
	防食機能の劣化
	その他
写 1	写真番号

図面番号	5 / 11	縮尺	図示
工程	橋梁修繕工事		
種別	下部工補修図	番号	1
橋梁名	田中橋		
工事箇所	福山市熊野町地内		
	福山市		

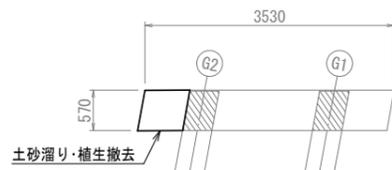
令和5年度
国補

※この図面は縮小しています：A1→A3

田中橋 下部工補修図 S=1:50

A1橋台

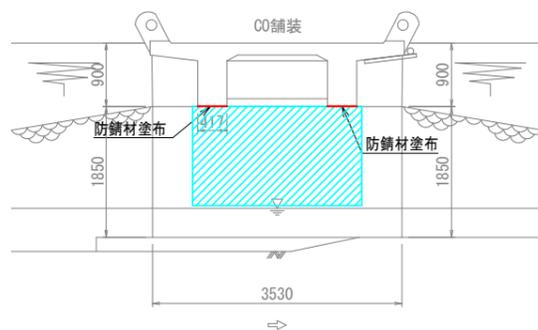
平面図(沓座面)



側面図(上流側)



正面図

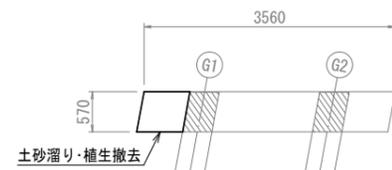


側面図(下流側)

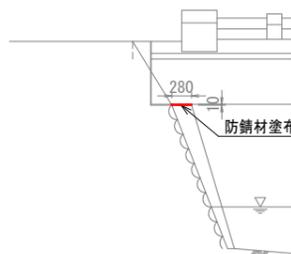


A2橋台

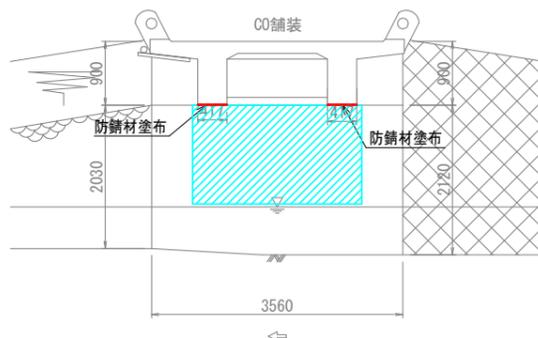
平面図(沓座面)



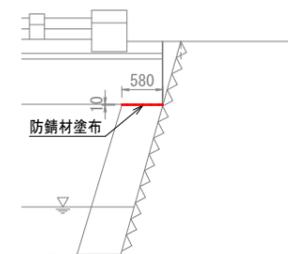
側面図(下流側)



正面図



側面図(上流側)



凡 例	
記号	損傷種類
	ひび割れ (W=0.2mm未満)
	ひび割れ (W=0.2mm~1.0mm未満)
	ひび割れ (W=1.0mm~5.0mm未満)
	ひび割れ (W=5.0mm以上)
	析出物を伴うひび割れ
	うき
	剥離
	鉄筋露出
	欠損
	摩耗・浸食
	豆板
	析出物
	漏水・滞水
	腐食
	防食機能の劣化
	その他
写 1	写真番号

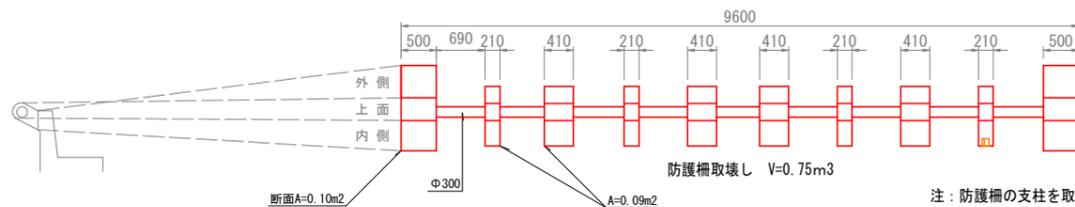
図面番号	6 / 11	縮尺	図示
工程	橋梁修繕工事		
種別	路面補修図	縮尺	1/1
橋梁名	田中橋		
工事箇所	福山市熊野町地内		
	福山市		

令和5年度
国補

※この図面は縮小しています：A1→A3

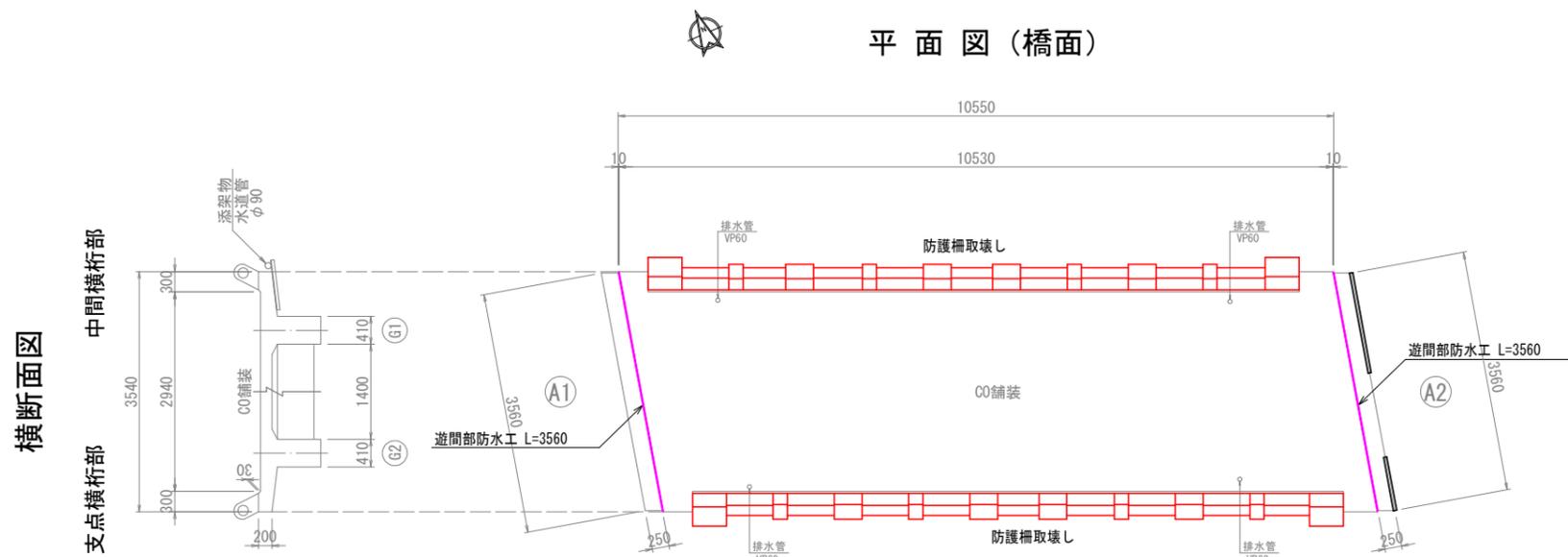
田中橋 路面補修図 S=1:50

左側防護柵正面図

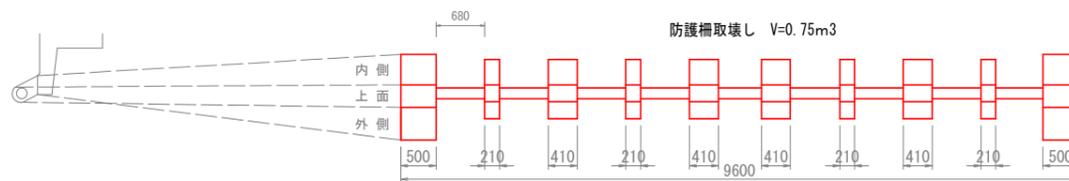


注：防護柵の支柱を取壊し後、はつり面をポリマーセメントモルタルで不陸修正(厚さ20mmを想定)すること。
 $A=0.30 \times (0.50 \times 2 + 0.41 \times 4 + 0.21 \times 4) = 1.04m^2$
 $V=1.04 \times 0.02 = 0.02m^3$

平面図(橋面)



右側防護柵正面図



注：防護柵の支柱を取壊し後、はつり面をポリマーセメントモルタルで不陸修正(厚さ20mmを想定)すること。
 $A=0.30 \times (0.50 \times 2 + 0.41 \times 4 + 0.21 \times 4) = 1.04m^2$
 $V=1.04 \times 0.02 = 0.02m^3$

凡例	
記号	損傷種類
	ひび割れ (W=0.2mm未満)
	ひび割れ (W=0.2mm~1.0mm未満)
	ひび割れ (W=1.0mm~5.0mm未満)
	ひび割れ (W=5.0mm以上)
	析出物を伴うひび割れ
	うき
	剥離
	鉄筋露出
	欠損
	摩耗・浸食
	豆板
	析出物
	漏水・滞水
	腐食
	防食機能の劣化
	その他
写 1	写真番号

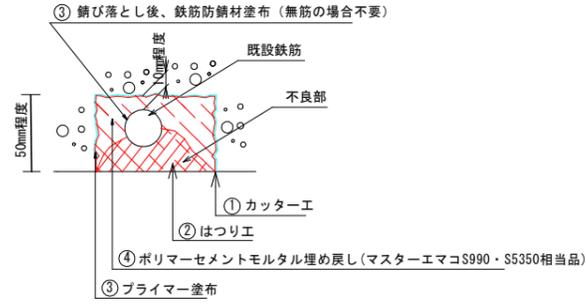
図面番号	7 / 11	縮尺	図示
工程	橋梁修繕工事		
種別	補修要領図	番号	1
橋梁名	田中橋		
工事箇所	福山市熊野町地内		
福山市			

令和5年度
国補

田中橋 補修要領図

断面修復工

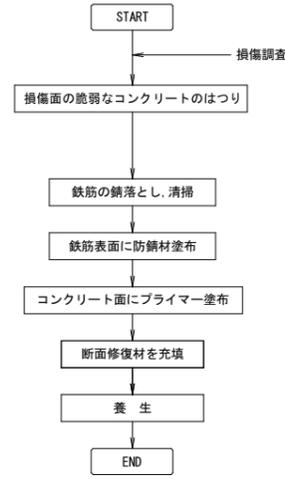
左官工法



- 注) 1. 断面修復工は、欠損、うき、鉄筋露出及びジャンカが生じている箇所に対して行うこととし、施工箇所や範囲については、施工時において再調査のうえ決定すること。
2. 鉄筋の裏側まで十分にはつり出し、鉄筋の錆び落とし、清掃及び防錆材の塗布を行ったのちに、断面を修復すること。

試験項目	試験体の履歴条件	基準値	試験方法
硬化時間	-	断面修復材の硬化時間は1時間以上であること	JIS A1147
断面修復材料の外観（塗装無し）	湿冷繰り返し試験後	断面修復材は均一で、われ、はがれ、ふくれのないこと	JIS A6909
硬化収縮性	-	断面修復材の硬化収縮率は0.05%以下であること 硬化に伴う発熱により反りかえりが無いこと	JIS A1129-3
熱膨張性	硬化収縮試験後	断面修復材の熱膨張係数は $2.0 \times 10^{-5}/^{\circ}\text{C}$ 以下であること	JIS K6911
コンクリートとの付着性	湿潤時 耐アルカリ性試験後 湿冷繰り返し試験後	コンクリートと断面修復材との付着強度は、 $1.5\text{N}/\text{mm}^2$ 以上であること	JIS A6909
塗装塗膜との付着性	湿冷繰り返し試験後	塗膜と断面修復材との付着強度は、 $1.0\text{N}/\text{mm}^2$ 以上であること	
圧縮強度	-	強度 ($24\text{N}/\text{mm}^2$) 以上であること	JIS A1108
流動性*	-	使用する材料の規格値以内	JSGE-F541-2010

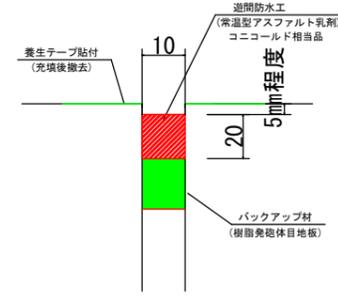
施工フロー



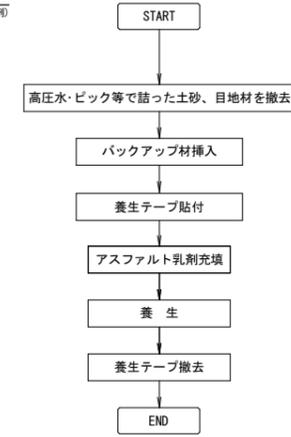
試験項目	試験項目	基準値
防錆性	防錆試験	処理部 防錆率50%以上
		未処理部 防錆率-10%以上
鉄筋との付着性	鉄筋に対する付着強さ	$7.8\text{N}/\text{mm}^2$ 以上
コンクリートとの付着性	耐アルカリ性	塗膜に異常が認められないこと

* 流動性は、注入工法で使用する材料に適用する(J14漏斗落下時間)。

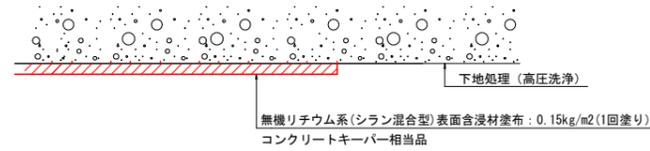
遊間防水工



施工フロー

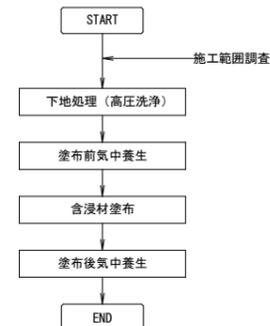


表面保護工（無機リチウム系（シラン混合型）表面含浸材塗布工）

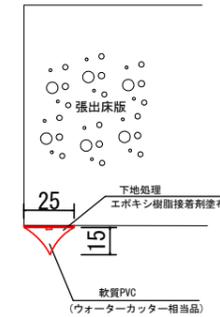


- 注) 1. 施工範囲については、施工時において再調査のうえ決定すること。
2. コンクリート表面の汚れ及び油分を十分取り除き塗布すること。
3. ひび割れ注入、断面修復後に施工すること。

施工フロー



水切工



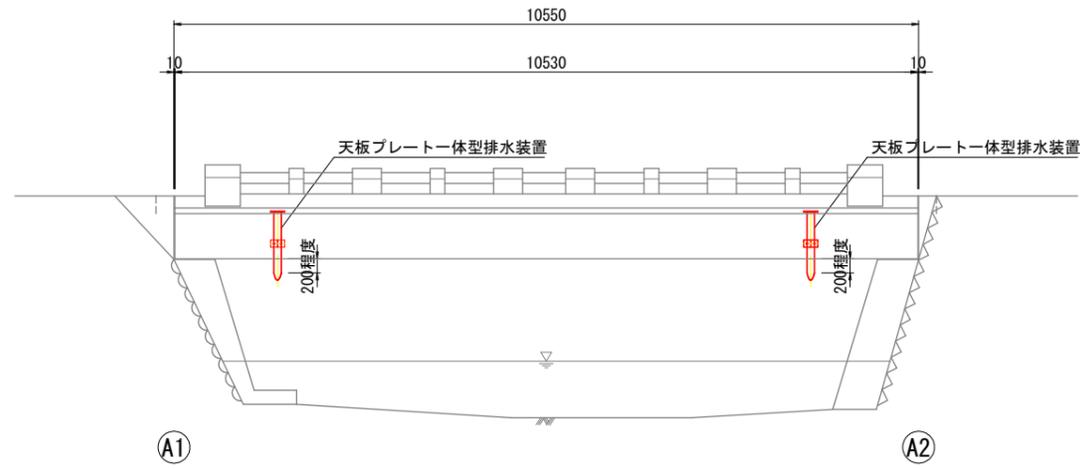
図面番号	8 / 11	縮尺	図示
工程	橋梁修繕工事		
種別	排水装置図(その1)	縮尺	1/1
橋梁名	田中橋		
工事箇所	福山市熊野町地内		
	福山市		

令和5年度
国補

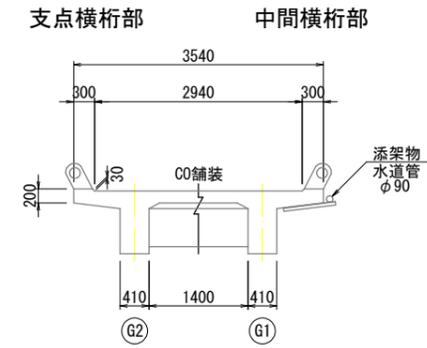
田中橋 排水装置図(その1) S=1:50

※この図面は縮小しています：A1→A3

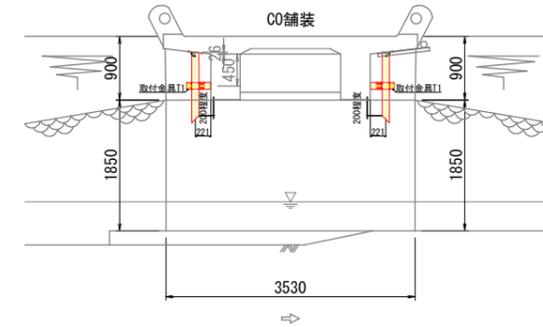
縦断面図



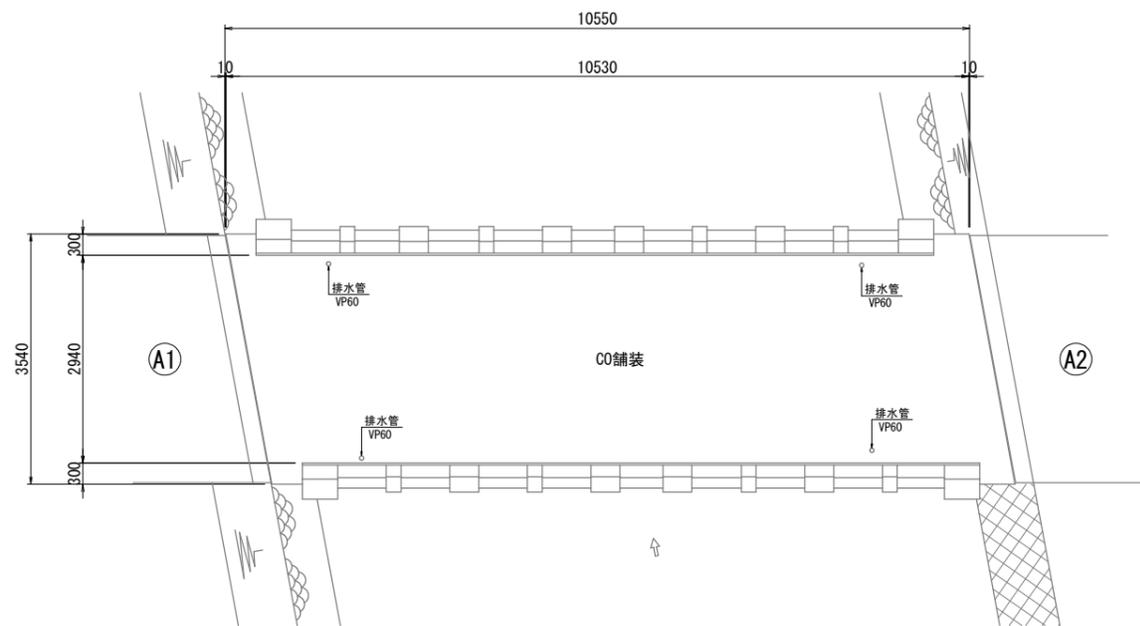
横断面図



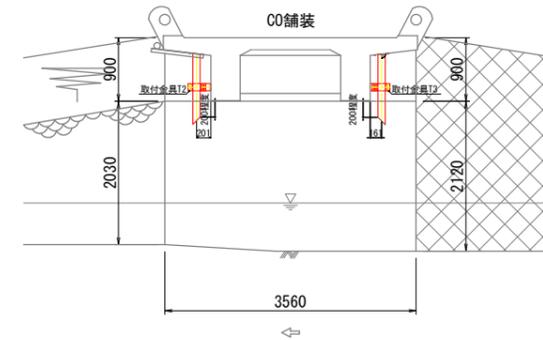
A1橋台



平面図(橋面)



A2橋台



図面番号	9 / 11	縮尺	図示
工程	橋梁修繕工事		
種別	排水装置図(その2)	番号	1
橋梁名	田中橋		
工事箇所	福山市熊野町地内		
	福山市		

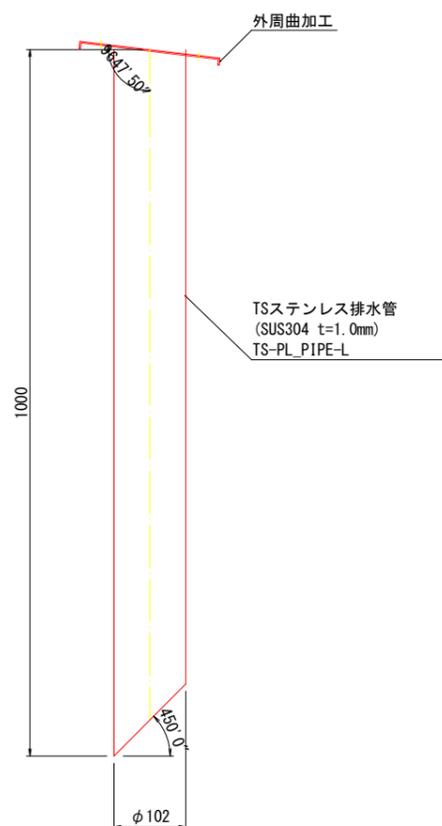
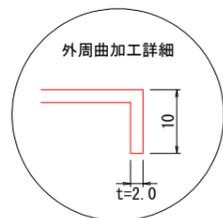
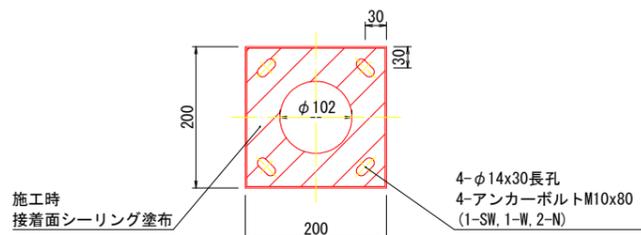
令和5年度
国補

田中橋 排水装置図(その2) S=1:5

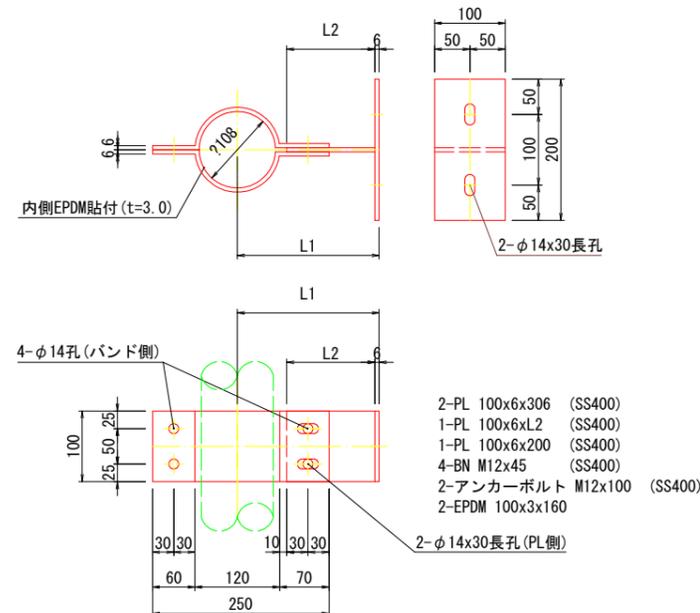
排水装置詳細図 TSステンレス排水装置

※この図面は縮小しています：A1→A3

天板プレート一体型排水装置 TS-PL_PIPE-L
製作数=4
NETIS No. CB-190003-AIに準ずる



取付金具詳細図
T1-T3
製作数=n



	L1	L2	重量(kg)	数量(n)
T1	221	145	4.51	2
T2	201	125	4.42	1
T3	161	85	4.23	1

< 重量表 > 1箇所当り				
部品名称	材質	寸法	重量	
天板プレート	SUS304	200x200	0.58 kg	
排水管	SUS304	φ102	2.47 kg	(重量=加工管寸法x2.6kg/m)
合計重量			3.05kg	

1. 特記なき材質はすべてSUS304とする。
2. 排水装置はTSステンレス排水装置に準ずる。
3. 天板プレート一体型排水装置は、NETIS No. CB-190003-AIに準ずる。
4. SS400は全て溶融亜鉛メッキ (JIS H 8641 2種 HDZ55) 仕上げを行う。但し、ボルト類はHDZ35とする。
5. t=2.0未満のステンレス鋼材溶接部内外面に対し耐食性向上の措置を講じる。
6. 現地調査にて寸法確定後製作する。

図面番号	10 / 11	縮尺	図示
工程	橋梁修繕工事		
種別	転落防止柵図(その1)	番号	1
橋梁名	田中橋		
工事箇所	福山市熊野町地内		
福山市			

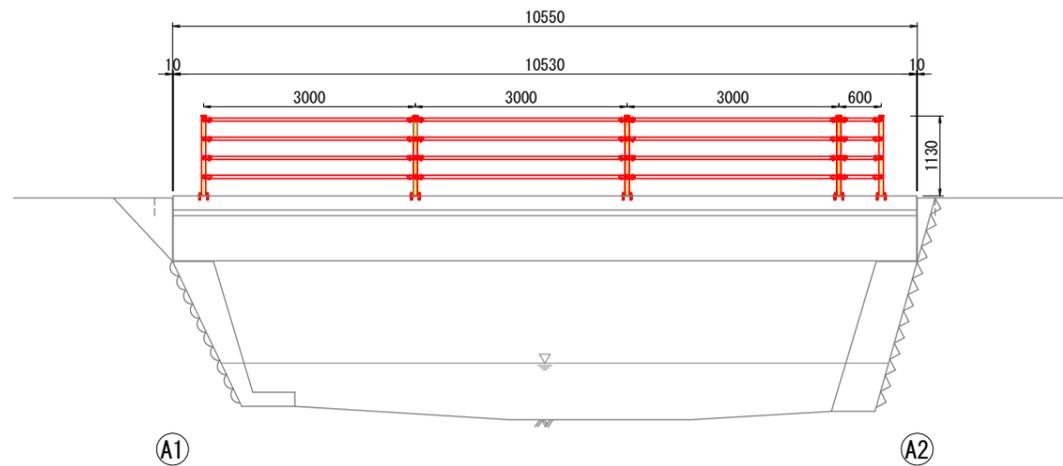
令和5年度

国補

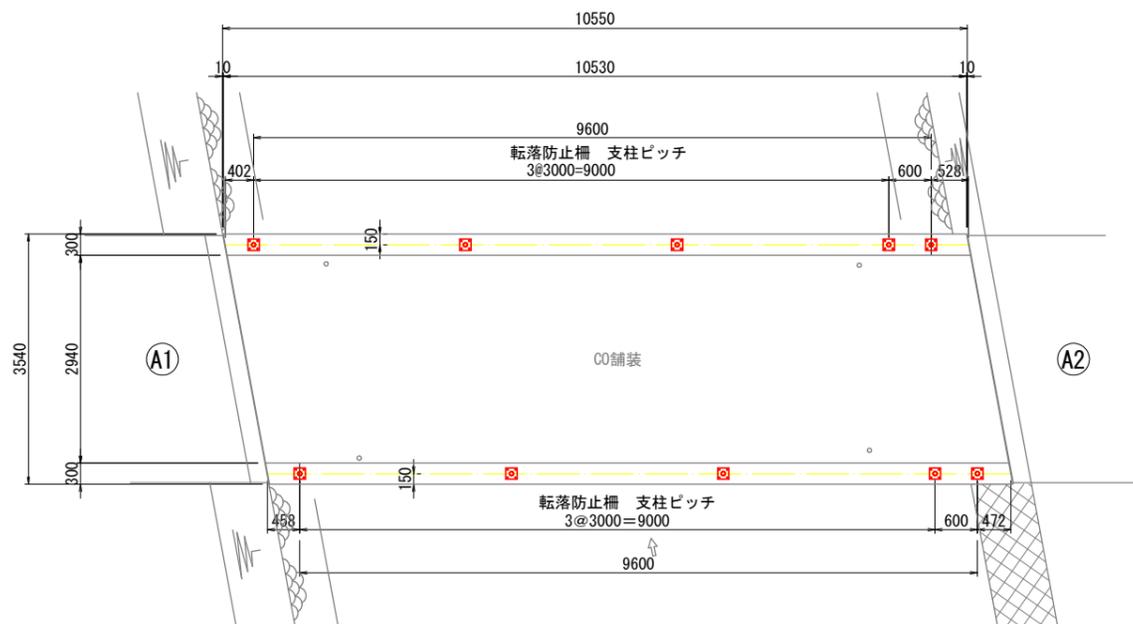
田中橋 転落防止柵図(その1) S=1:50

※この図面は縮小しています：A1→A3

縦断面図



平面図(橋面)



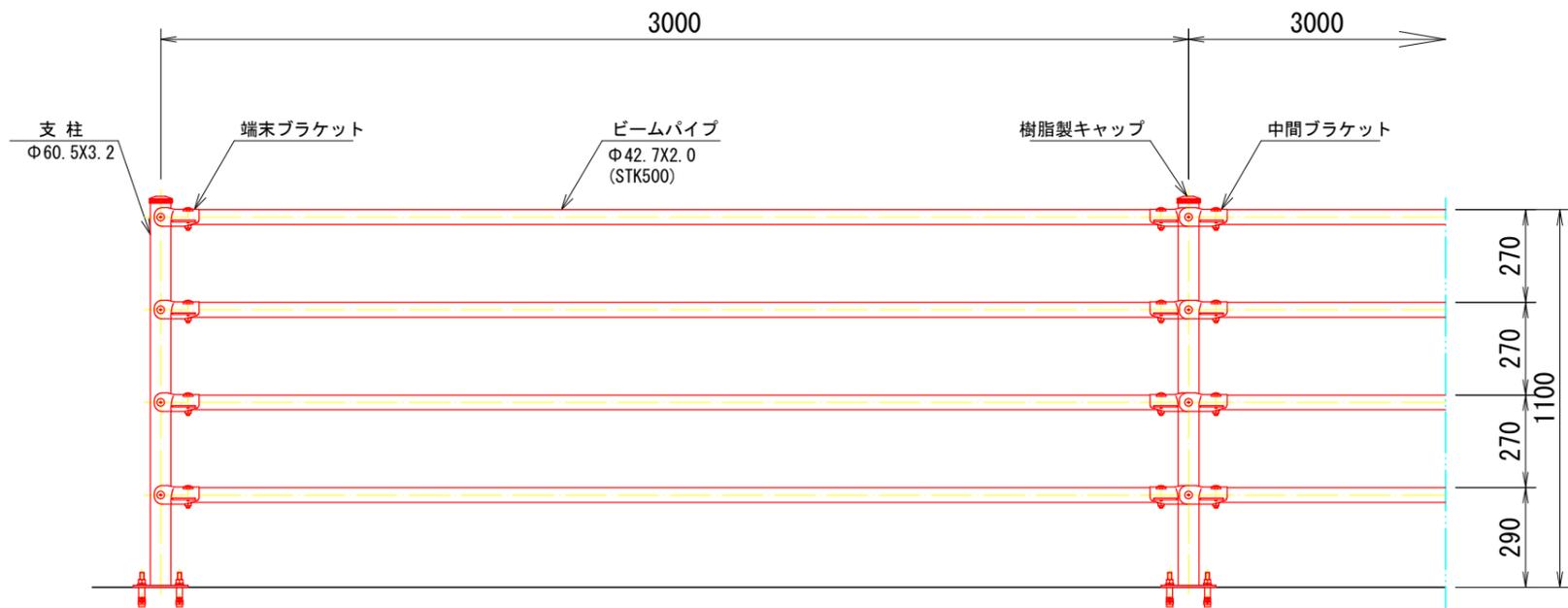
注)事前にアンカー位置の鉄筋の有無を調査し、支柱ピッチを決定すること。

図面番号	11 / 11	縮尺	図示
工程	橋梁修繕工事		
種別	転落防止柵図(その2)	番	1
橋梁名	田中橋		
工事箇所	福山市熊野町地内		
	福山市		

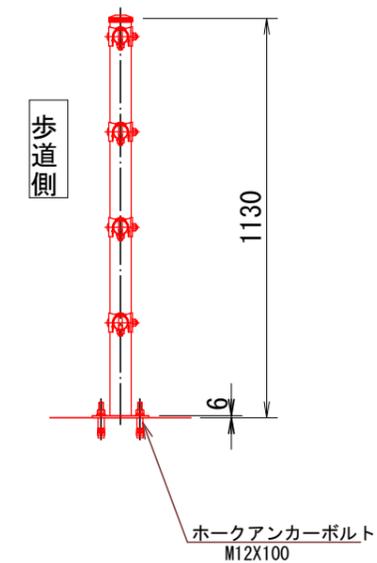
令和5年度
国補

田中橋 転落防止柵図(その2) S=1/20

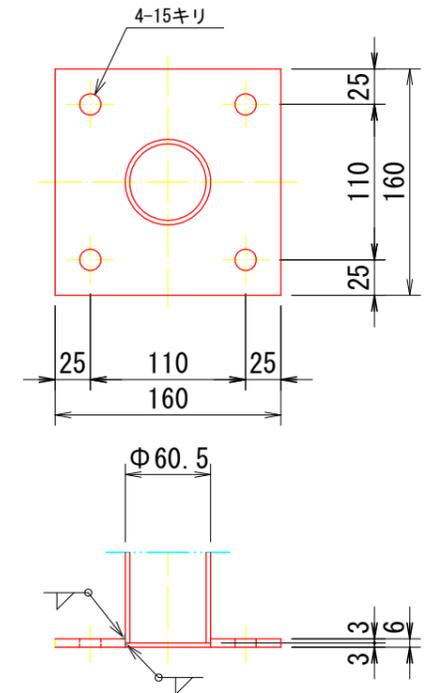
※この図面は縮小しています：A1→A3



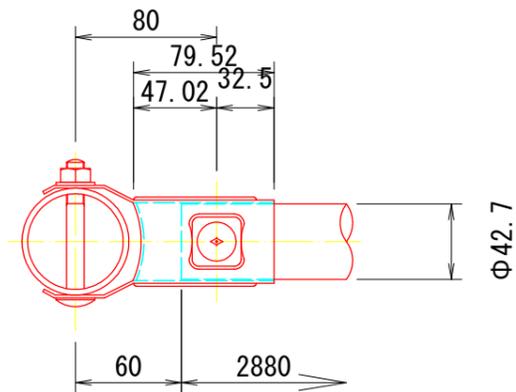
ベースプレート用(BPL)



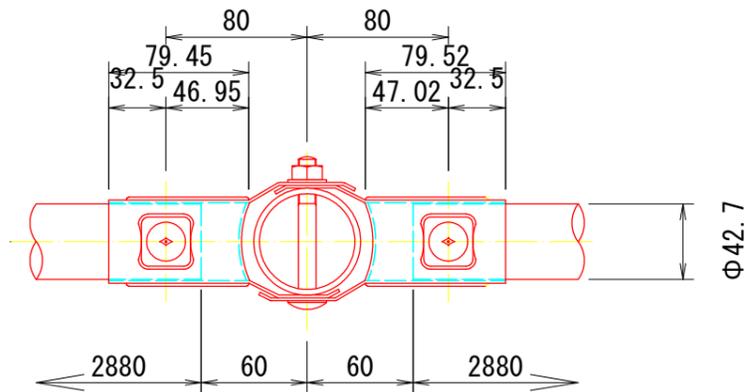
ベースプレート部詳細 S=1/5



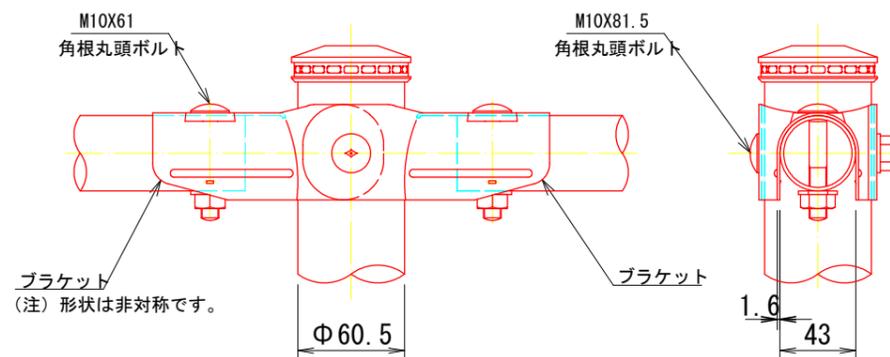
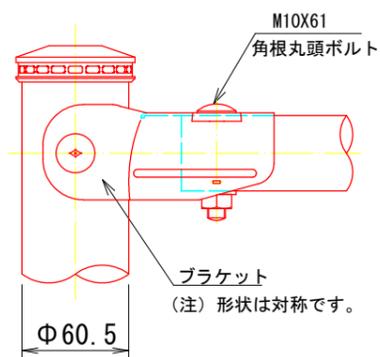
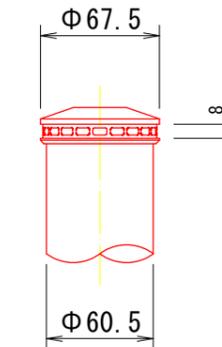
末端部取付詳細 S=1/4



中間部取付詳細 S=1/4



キャップ詳細 S=1/4



注記：本図は歩道側から見た図面である。

以下 本工事費算出資料

施工単価表

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)

SPK23040118

単第0 -0010 表

頁0 -0019

削孔深さ30mm以上200mm未満

機械構成比: 2.41% 労務構成比: 95.01%

材料構成比: 2.58%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 1

孔 当り

613.43000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		EP001
A=1 削孔深さ30mm以上200mm未満					

施工単価表

とりこわし

SPK23040333

単第0 -0011 表

頁0 -0020

機械構成比: 1.84% 労務構成比: 95.09%

材料構成比: 3.07%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 1

m3 当り

85,861.00000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<貸>空気圧縮機(エンジンコンプレッサ) 吐出量3.5~3.7m3/min 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.43%		空気圧縮機 [可搬式・エンジン掛] 3.5~3.7m3/min		KTPC00011 KTPT00011
さく岩機 コンクリートブレーカ 20kg級	0.41%		さく岩機 コンクリートブレーカ 20kg級		MTPC00037 MTPT00037
特殊作業員	43.43%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	35.32%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.58%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 バトロール給油, 2~4KL積載車給油	3.07%		軽油バトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

本 工 事 総 括 表

レベル1	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単 位	計 算 数 量	計 上 数 量	摘 要
橋梁保全工事								
	橋梁補修工							田中橋
		橋梁補修工						
			断面修復工(左官工法)	鉄筋ケレン・防錆処理含む	m ²	13.4	13	V=0.61 m ³
		表面保護工						
			表面含侵工_下地処理	上部工	m ²	74.3	74	
			表面含侵工_含浸材塗布		m ²	74.3	74	
		水切工						
			水切工	橋梁床版用後付型水切(ウォーターカーター)	m	21.1	21	
		遊間防水工						
			バックアップ材	樹脂発砲体(t=10mm) 倍率30倍	m ²	0.1	0.1	
			防水材充填工	常温アスファルト乳剤型(ユニコールド相当品)	m	7.1	7	
		支承防錆工						
			素地調整	3種Aケレン	m ²	0.04	0.04	
			防錆材塗布	弱溶剤型変性エポキシ樹脂塗料:1層 はけ・ローラー	m ²	0.04	0.04	
		排水装置工						
			排水管設置工	天端プレート一体型ステンレス排水装置	箇所	4	4	
		防護柵工						
			転落防止柵設置	転落防止柵 ベースプレートタイプ H=1100	m	19.2	19	
			削孔	ハンマドリル	孔	40.0	40	
			あと施工アンカー	M12×100	本	40.0	40	
		構造物取壊し工						
			防護柵取壊し	鉄筋構造物 とりこわし	m ²	1.5	2	
		運搬処理工						
			コンクリート殻運搬	無筋	m ³	0.6	0.6	
			コンクリート殻運搬	有筋	m ³	1.5	2	
			コンクリート殻処分	無筋	t	1.4	1	
			コンクリート殻処分	有筋	t	3.8	4	
		仮設工						
			足場組立・解体	吊足場(ネット防護)	m ²	37.3	37	

田中橋 補修工数量計算書

1. 断面修復工（ポリマーセメントモルタル 左官工法）

(1) 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理含む

上部工(床版、主桁)、防護柵撤去後不陸整正

断面修復工集計表・路面補修図より

$$A = \underset{\text{上部工}}{11.37} + \underset{\text{防護柵}}{2.08} = \underline{13.4 \text{ m}^2}$$

$$V = \underset{\text{上部工}}{0.57} + \underset{\text{防護柵}}{0.04} = 0.61 \quad \underline{0.6 \text{ m}^3}$$

2. 表面保護工（シラン系表面含浸材）

上部工：コンクリートキーパー相当品

(1) 下地処理工

表面保護工集計表より

$$A = \underline{74.3 \text{ m}^2}$$

(2) 表面保護工

表面保護工集計表より

$$A = \underline{74.3 \text{ m}^2}$$

3. 水切設置工

張出床版端部：橋梁床版用後付け型水切り（ウォーターカーター相当品）

$$L = 10.53 + 10.53 = \underline{21.1 \text{ m}}$$

4. 遊間部防水工

(1) バックアップ材

樹脂発砲体(t=10mm) 倍率30倍

$$A1:L = 3.56 \times 0.02 \times 1 = 0.07 \text{ m}^2$$

$$A2 L = 3.56 \times 0.02 \times 1 = 0.07 \text{ m}^2$$

$$\begin{array}{ccc} \text{延長} & \text{深さ} & \text{枚数} \\ & & \\ & & = 0.1 \text{ m}^2 \end{array}$$

(2) 防水材充填工

常温アスファルト乳剤型(ユニコールド相当品)

$$L = 3.56 \times 2 = \underline{7.1 \text{ m}}$$

5. 支承防錆工

弱溶剤型変性エポキシ樹脂塗料：1層 はけ・ローラー

$$A = 0.01 \times (0.58 \times 3 + 0.42 \times 4 + 0.28) = \underline{0.04 \text{ m}^2}$$

6. 排水装置工

TSステンレス

排水装置設置(設置アンカー削孔含む)

天端プレート付きTSステンレス排水管 SUS304 t=1mm 天端t=2mm曲げ加工

$$\underline{N = 4 \text{ 箇所}}$$

・取付金具T1：2組

・取付金具T2：1組

・取付金具T3：1組

7. 防護柵工

転落防止柵 ベースプレートタイプ H=1100
L = 9.6 + 9.6

$$= \underline{19.2 \text{ m}}$$

削孔 4 × 10 箇所 = 40 孔

あと施工アンカー 4 × 10 箇所 = 40 本

8. 防護柵取壊し工

鉄筋構造物 人力取壊し

$$V = 0.10 \times 0.50 \times 4 + 0.09 \times 0.41 \times 8 + 0.09 \times 0.21 \times 8 \\ \text{親柱} \qquad \qquad \qquad \text{中間支柱} \qquad \qquad \qquad \text{中間支柱} \\ + 0.15 \times 0.15 \times \pi \times (6.12 + 6.12) = 1.51 \\ \text{欄干}$$

$$= \underline{1.5 \text{ m}^3}$$

9. 運搬処理工

(1) Co殻運搬

はつり殻：無筋 断面修復工

$$V =$$

$$= \underline{0.6 \text{ m}^3}$$

(2) Co殻運搬

防護柵：有筋

$$V =$$

$$= \underline{1.5 \text{ m}^3}$$

(2) Co殻処分

はつり殻：無筋

$$W = 0.61 \times 2.35$$

Co単位重量(無筋)

$$= \underline{1.4 \text{ t}}$$

(3) Co殻処分

防護柵：有筋

$$W = 1.51 \times 2.50$$

Co単位重量(有筋)

$$= \underline{3.8 \text{ t}}$$

10. 仮設工

(1) 吊足場(両側朝顔 ネット防護)

$$A = 3.54 \times 10.53$$

$$= \underline{37.3 \text{ m}^2}$$

断面修復工集計表

番号		部位	寸法 (m×m)	補修面積 (m ²)	補修深さ (m)	プライマー塗布面積 (m ²)	補修体積 (m ³)
1	上部工	床版下面	0.40 × 0.25	0.100	0.050	0.165	0.005
2			0.20 × 0.20	0.040	0.050	0.080	0.002
3			0.15 × 0.15	0.023	0.020	0.035	0.000
4			0.25 × 0.25	0.063	0.050	0.113	0.003
5			0.50 × 0.45	0.225	0.050	0.295	0.011
6			0.30 × 0.50	0.150	0.050	0.190	0.008
7			0.25 × 0.50	0.125	0.050	0.163	0.006
8			0.15 × 0.50	0.075	0.050	0.140	0.004
9			0.20 × 0.20	0.040	0.050	0.070	0.002
10			0.20 × 0.20	0.040	0.050	0.070	0.002
11			0.50 × 0.75	0.375	0.050	0.463	0.019
12			0.30 × 0.40	0.120	0.050	0.190	0.006
13			0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.001
14			0.25 × 0.25	0.063	0.050	0.113	0.003
15			0.15 × 0.15	0.023	0.050	0.053	0.001
16			0.30 × 0.40	0.120	0.050	0.190	0.006
17			0.25 × 0.60	0.150	0.050	0.235	0.008
18			0.25 × 0.30	0.075	0.050	0.130	0.004
19			0.20 × 0.20	0.040	0.050	0.080	0.002
20			0.15 × 0.15	0.023	0.050	0.053	0.001
21		0.15 × 0.15	0.023	0.050	0.053	0.001	
22		0.30 × 1.50	0.450	0.050	0.630	0.023	
23		0.60 × 1.80	1.080	0.050	1.320	0.054	
24		0.70 × 1.15	0.805	0.050	0.920	0.040	
25		0.60 × 1.40	0.840	0.050	0.980	0.042	
26		0.60 × 2.80	1.680	0.050	1.990	0.084	
27		0.40 × 1.10	0.440	0.050	0.460	0.022	
28		0.55 × 2.40	1.320	0.050	1.465	0.066	
29		0.65 × 2.20	1.430	0.050	1.573	0.072	
30		0.30 × 0.15	0.045	0.050	0.090	0.002	
31		0.55 × 2.50	1.375	0.050	1.528	0.069	
合計				11.365		13.862	0.569

表面保護工集計表

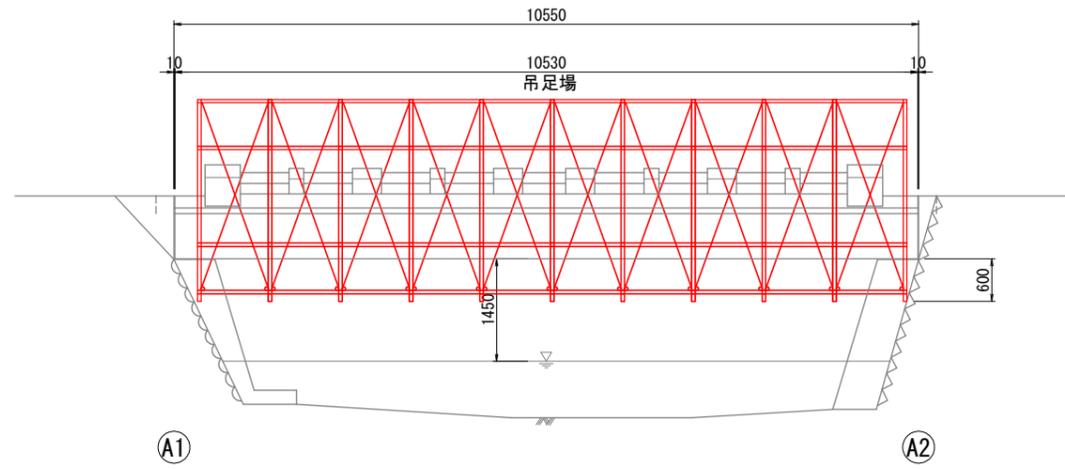
部位	計算式 (m)	面積 (m2)	備考
上部工:コンクリートキーパー相当品			
床版下面	=	27.4	CAD計測値
主桁	16.8 + 16.8 =	33.6	CAD計測値
横桁	=	4.4	CAD計測値
地覆	4.7 + 4.7 =	9.4	CAD計測値
控除 (水切工部)	0.025 × 21.1 =	-0.5	
合 計		74.3	
下部工:			
	=	0.0	
	=	0.0	
	=	0.0	
	=	0.0	
合 計		0.0	

図面番号	1 / 5	縮尺	図示
工程	橋梁修繕工事		
種別	仮設図	備考	1
橋梁名	田中橋		
工事箇所	福山市熊野町地内		
	福山市		

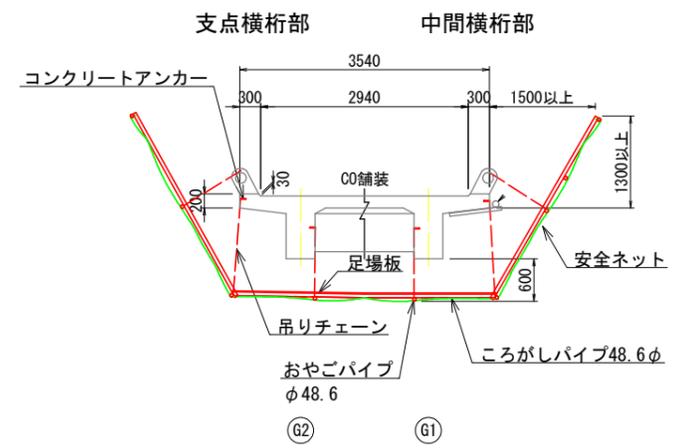
令和5年度
国補

田中橋 仮設図(参考図) S=1:50

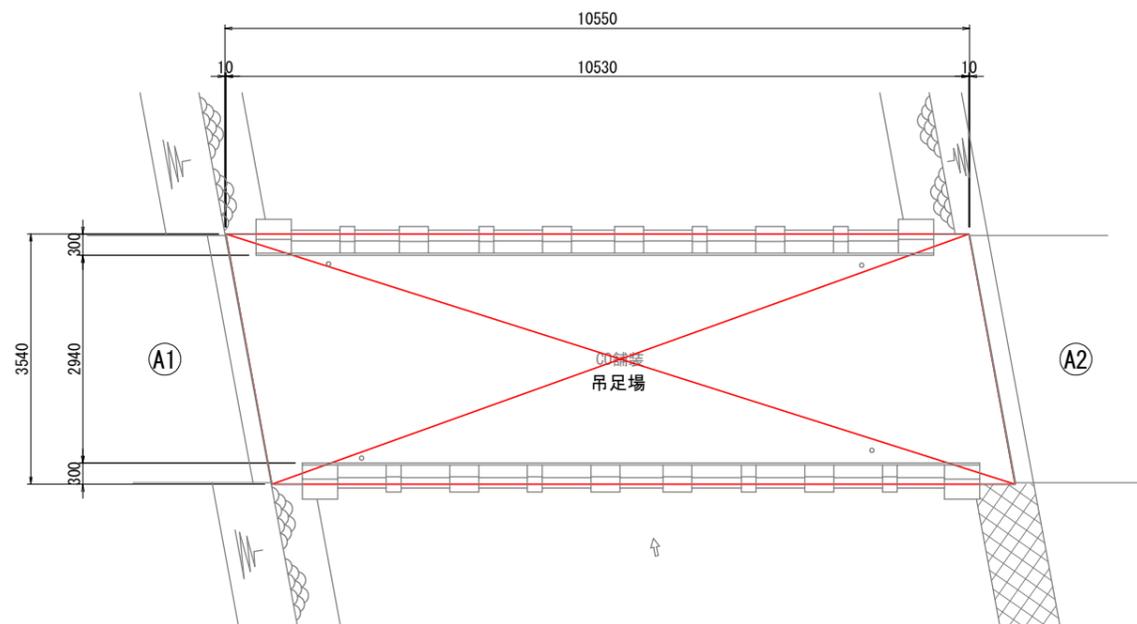
縦断面図



横断面図



平面図(橋面)



吊足場 数量表

名称	計算式	面積
吊足場	3.540×10.530	37.3 m ²

※この図面は縮小しています：A1→A3

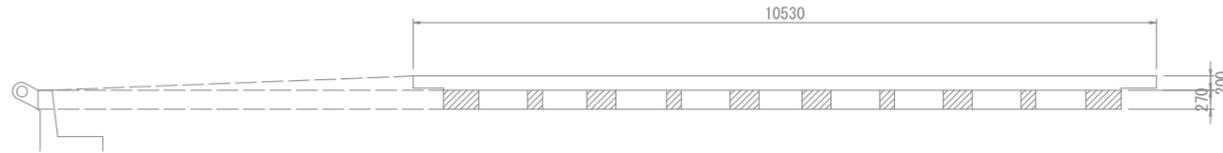
図面番号	2 / 5	縮尺	図示
工程	橋梁修繕工事		
種別	上部工損傷図	備考	1
橋梁名	田中橋		
工事箇所	福山市熊野町地内		
	福山市		

令和5年度
国補

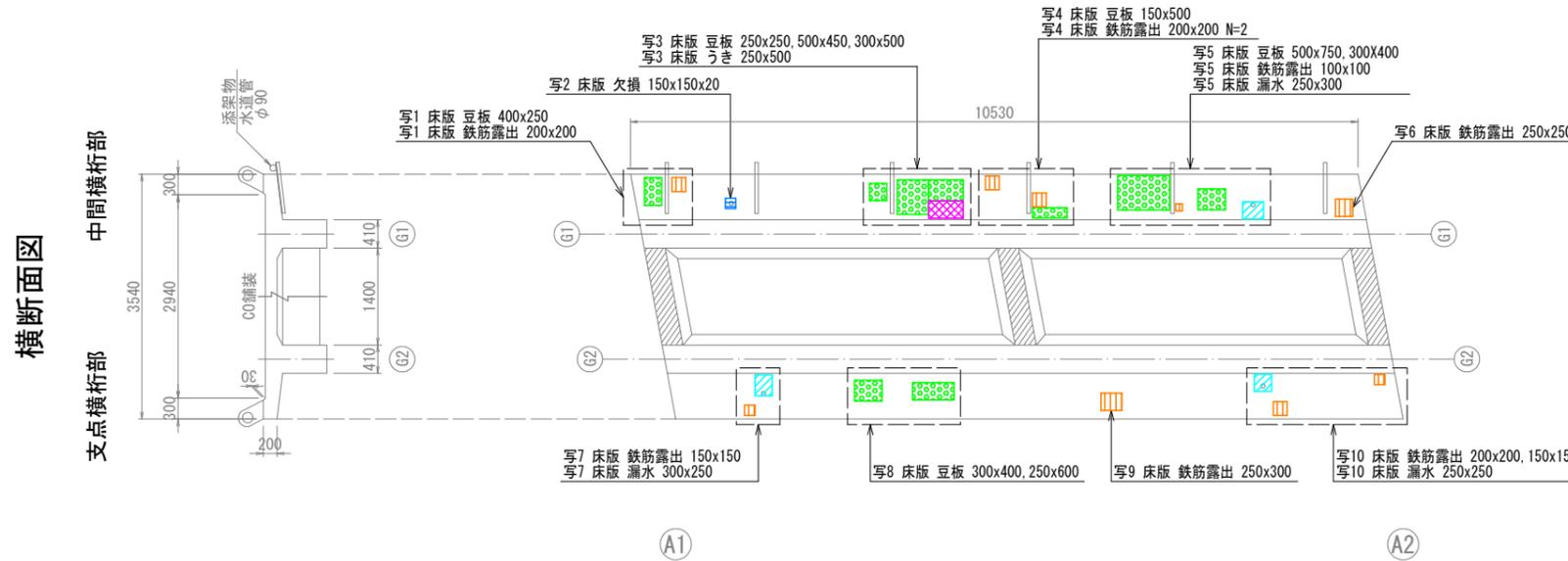
田中橋 上部工損傷図 (参考図) S=1:50

※この図面は縮小しています：A1→A3

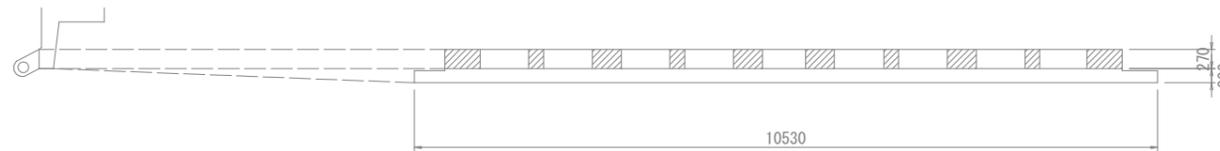
左側地覆展開図



平面図 (床版下面)



右側地覆展開図



凡 例	
記号	損傷種類
	ひび割れ (W=0.2mm未満)
	ひび割れ (W=0.2mm~1.0mm未満)
	ひび割れ (W=1.0mm~5.0mm未満)
	ひび割れ (W=5.0mm以上)
	析出物を伴うひび割れ
	うき
	剥離
	鉄筋露出
	欠損
	摩耗・浸食
	豆板
	析出物
	漏水・滞水
	腐食
	防食機能の劣化
	その他
写 1	写真番号

図面番号	3 / 5	縮尺	図示
工程	橋梁修繕工事		
種別	上部工損傷図	縮尺	1/1
橋梁名	田中橋		
工事箇所	福山市熊野町地内		
	福山市		

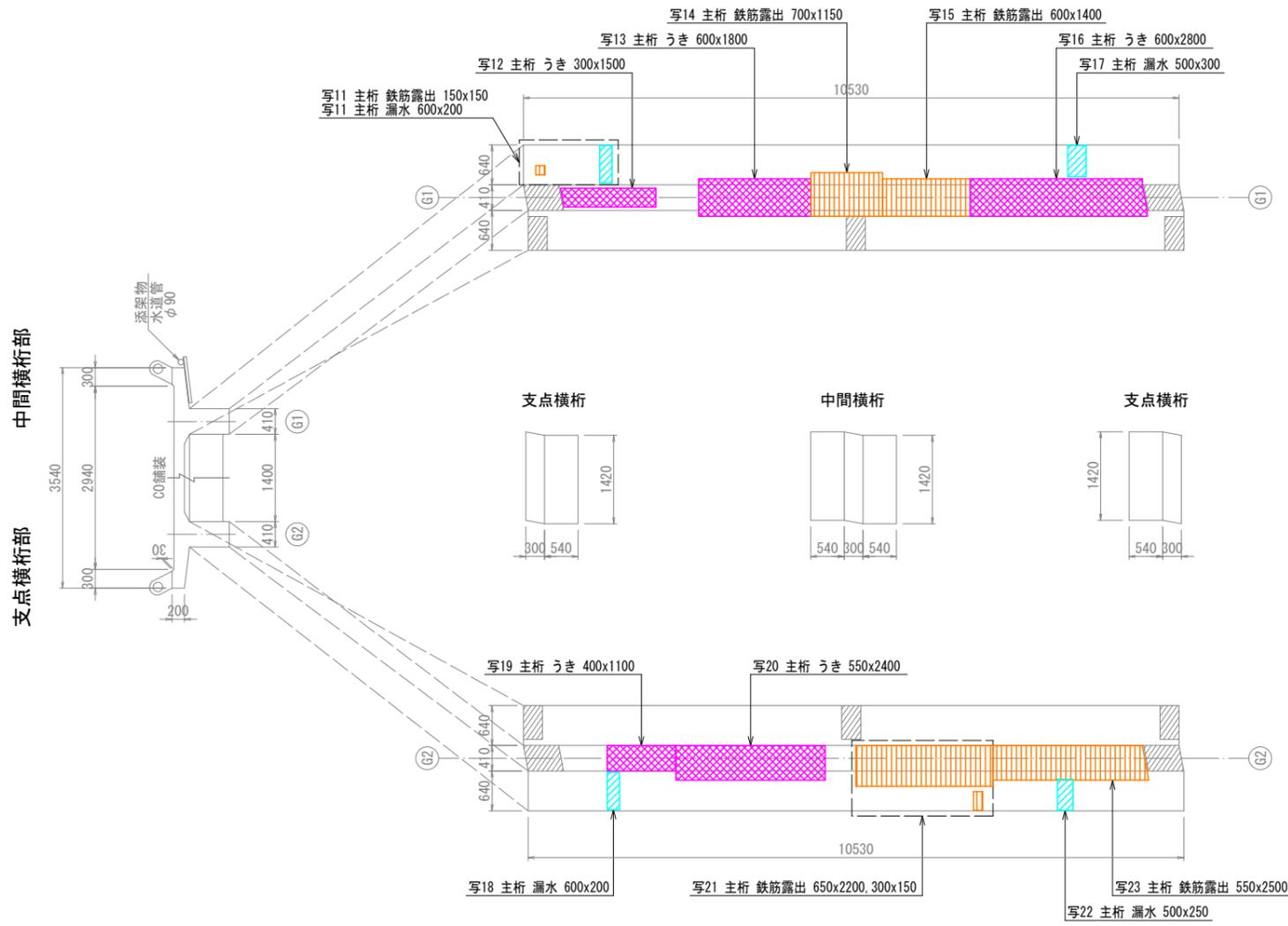
令和5年度
国補

田中橋 上部工損傷図（参考図） S=1:50

主桁

※この図面は縮小しています：A1→A3

横断面図



凡例	
記号	損傷種類
	ひび割れ (W=0.2mm未満)
	ひび割れ (W=0.2mm~1.0mm未満)
	ひび割れ (W=1.0mm~5.0mm未満)
	ひび割れ (W=5.0mm以上)
	析出物を伴うひび割れ
	うき
	剥離
	鉄筋露出
	欠損
	摩耗・浸食
	豆板
	析出物
	漏水・滞水
	腐食
	防食機能の劣化
	その他
写 1	写真番号

図面番号	4 / 5	縮尺	図示
工程	橋梁修繕工事		
種別	下部工損傷図	番号	1
橋梁名	田中橋		
工事箇所	福山市熊野町地内		
福山市			

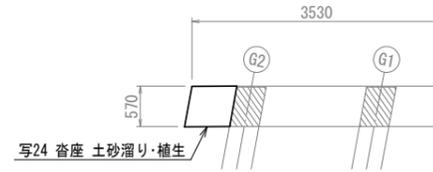
令和5年度
国補

田中橋 下部工損傷図 (参考図) S=1:50

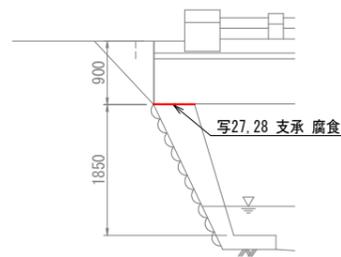
※この図面は縮小しています：A1→A3

A1橋台

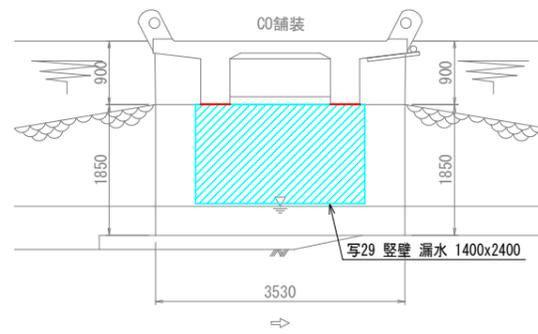
平面図(沓座面)



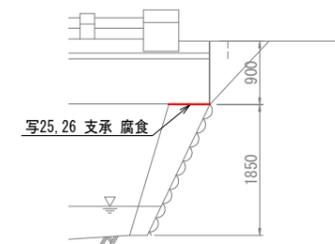
側面図(上流側)



正面図

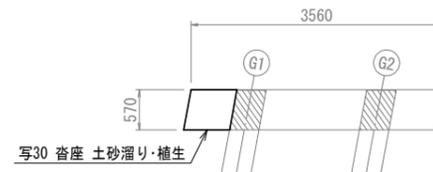


側面図(下流側)

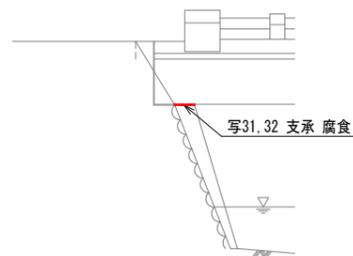


A2橋台

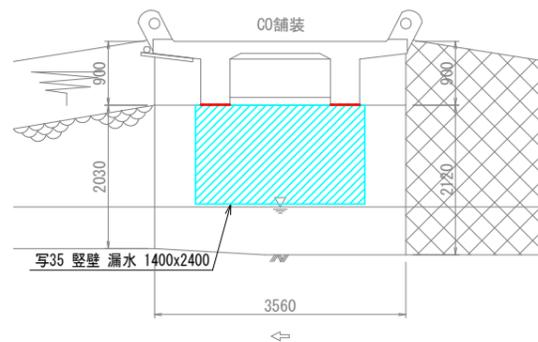
平面図(沓座面)



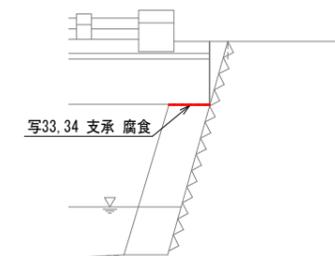
側面図(下流側)



正面図



側面図(上流側)



凡 例	
記号	損傷種類
	ひび割れ (W=0.2mm未満)
	ひび割れ (W=0.2mm~1.0mm未満)
	ひび割れ (W=1.0mm~5.0mm未満)
	ひび割れ (W=5.0mm以上)
	析出物を伴うひび割れ
	うき
	剥離
	鉄筋露出
	欠損
	摩耗・浸食
	豆板
	析出物
	漏水・滞水
	腐食
	防食機能の劣化
	その他
写 1	写真番号

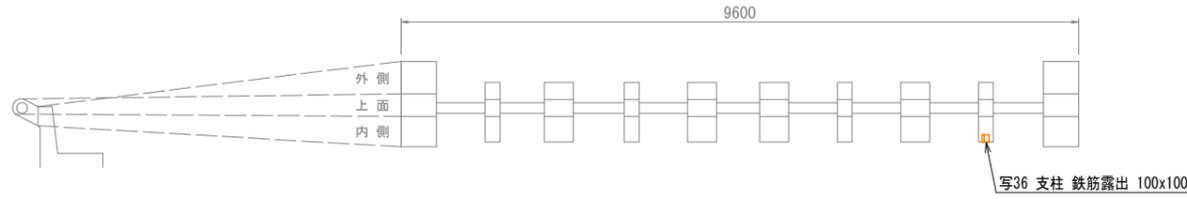
図面番号	5 / 5	縮尺	図示
工程	橋梁修繕工事		
種別	路面損傷図	縮尺	1/1
橋梁名	田中橋		
工事箇所	福山市熊野町地内		
	福山市		

令和5年度
国補

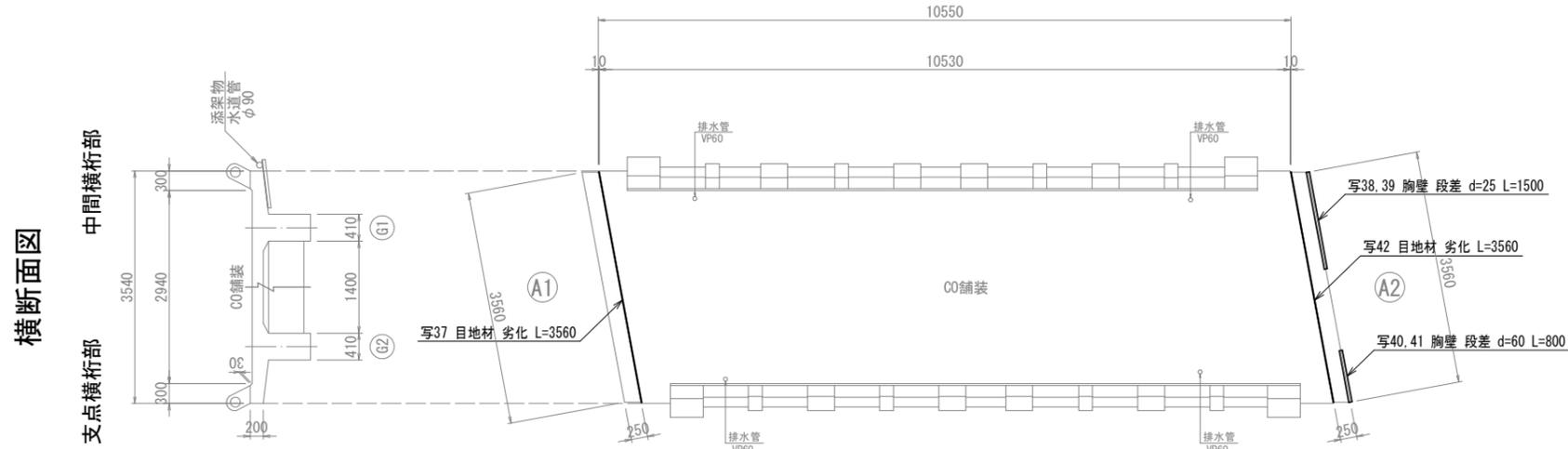
田中橋 路面損傷図 (参考図) S=1:50

※この図面は縮小しています：A1→A3

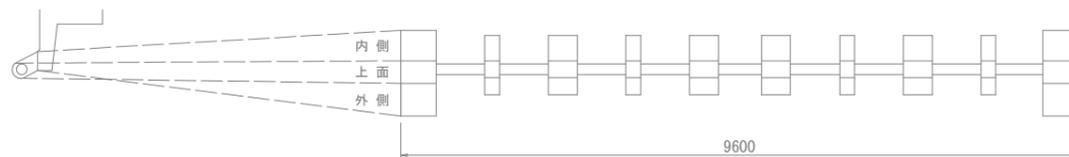
左側防護柵正面図



平面図 (橋面)



右側防護柵正面図



凡 例	
記号	損傷種類
	ひび割れ (W=0.2mm未満)
	ひび割れ (W=0.2mm~1.0mm未満)
	ひび割れ (W=1.0mm~5.0mm未満)
	ひび割れ (W=5.0mm以上)
	析出物を伴うひび割れ
	うき
	剥離
	鉄筋露出
	欠損
	摩耗・浸食
	豆板
	析出物
	漏水・滞水
	腐食
	防食機能の劣化
	その他
写 1	写真番号